事業シート（令和8年度予算）

事業名	22200　賦課徴収事業費		
担当課	財務部　税務課	内線	2140

予算			
会計	1	一般会計	
款	2	総務費	
項	2	徴税費	
目	2	賦課徴収費	

総合計画				
重点戦略	方向性		着実な計画の推進	
	ポイント			
分野別	政策分野			
	施策分野			

根拠計画	
市長公約	

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・公平で正確な固定資産税等の賦課を行う。 ・確実な収納が見込める特別徴収（市民税）の割合を高める。 ・コンビニ収納や口座振替の推進により、収納率の向上を図る。 ・市税関係団体への支援等を行う。	概要	・法令に基づく適正な固定資産の評価を実施する。 ・給与支払者である事業者等に対し、文書や訪問により特別徴収の利点の周知を図る。 ・コンビニ収納やキャッシュレス決済、口座振替を推進し、納税者の利便性の向上を図る。 ・各団体へ負担金、補助金を支出することで団体の円滑な事業推進を支援する。

総合計画等　主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R6 最終予算	R6 決算 (a)	R7 当初予算 (c)	R7 最終予算	R7 決算 (b)	R7 増減 (b)-(a)
		125,539	109,550	220,929			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（ 宿泊税　）			25,440			
一般財源		125,539	109,550	195,489			
新規・拡充	主な事業内容						
	固定資産土地現況調査、土地鑑定評価ほか	37,130	33,345	76,090			
	市税コンビニ収納・市税キャッシュレス決済	4,230	4,264	5,740			
	市税還付金	50,000	38,903	50,000			
	軽自動車車検情報システム負担金	400	339	400			
	たばこ販売美化活動推進事業補助金	550	550	550			
	収納業務委託	20,890	20,881	17,430			
○ 1	宿泊税徴収事務交付金						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成（Action）

（千円）

R8予算 要求額	R8予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額(d)	実施計画額 151,600 増減 (d)-(c)
146,726	151,590	153,590	△ 67,339
		13,000	△ 12,440
146,726	151,590	140,590	△ 54,899
査定額	査定額	説明	
49,840			
6,340	市税コンビニ収納代行委託料、クレジット収納業務委託料等		
50,000			
400			
550			
17,430			
13,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等（Check）　R7.8実施

事業実績	・令和9年度評価替えに向けた地域総合調査と地価下落の反映 ・「高山市公金収納推進センター」を設置し、現年度分徴収事務の一部業務委託を実施 ・県税職員と市職員連携による納税催告 ・クレジット収納等によるキャッシュレス決済の促進 ・市税関係団体への支援等の実施 ・現年度分の収納率99.38%（前年度99.28%）対前年度　0.10ポイント増 ・滞納繰越分の収納率20.84%（前年度13.66%）対前年度　7.18ポイント増	
評価等	・現年度分徴収事務の一部を業務委託したことにより、年間を通じたきめ細やかな納付勧奨及び催告業務の実施が可能となった。また、徴収職員が過年度分の収納未済に専門的に取り組むことができる環境づくりにより、滞納整理が強化され、公平性の担保と財源確保が図られた。 ・現年度分については、夜間及び休日の窓口を開設、また県税事務所職員との合同電話催告など早めの納付対策に努めた。滞納繰越分は債権を主とした滞納処分を強化し、職員の県税事務所派遣により個人市民税の徴収強化と圧縮を図った。 ・収納率は、現年度分は99.38%、全体で96.69%**（前年度96.14%）**、前年対比0.55ポイント増となった。 ・今後も公平性の観点に立ち法令に基づいた滞納整理を進め、財源の確保に努めるとともに、適切な不良債権の処理を行い、適正な債権管理を図る。	
次年度以降の考え方（担当課）	・現況調査に基づく適切な土地家屋評価を実施する。 ・収納業務の一部業務委託により収納業務の効率化を図り、徴収職員が滞納整理に専門的に取り組むことで公金の徴収を強化する。 ・税の公平性と適切な賦課徴収による財源の確保に努める。 ・徴収指導員、県当局並びに本庁や支所職員による滞納者への催告等により収納率の向上を目指す。 ・電話催告や滞納者の不動産や預貯金等の差押など積極的なアプローチにより税収確保に努める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

担当課予算要求ポイント	・固定資産税の適正評価等に要する経費を計上 ・市税徴収、納税者の利便性の向上に必要な経費を計上 ・市税収納業務等の委託に必要な経費を計上 ・宿泊税特別徴収義務者の事務負担に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・宿泊税特別徴収事務交付金の交付方法を見直し、必要な経費を計上
市長査定の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票（令和8年度予算）

事業名	22200	賦課徴収事業費	区分	☐ R7新規 ☑ R8新規 ☐ R7拡充 ☐ R8拡充 ☐ その他重要事業 ☐	予算	会計	1	一般会計	担当課	財務部　税務課
枝番・内容	1	宿泊税徴収事務交付金				款	2	総務費	内線	2106
						項	2	徴税費	作成年月	R8.2
						目	2	賦課徴収費		

事業の目的・概要（Plan）

目的	・宿泊税の特別徴収の方法による徴収事務に係る負担の軽減と、円滑な徴収を図る。	概要	・特別徴収義務者に対して、宿泊税の納入額に応じた交付金を交付

[参考] R6決算（Do・Check）　R7.8時点　（千円）

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額（決算）		

事業実績、評価等

[事業実績]

[評価等]

次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

[参考] R7当初予算(Action)　R7.3時点　（千円）

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額（当初予算）		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合あり

事業内容、スケジュール

[スケジュール]

R7決算（Do・Check）　R8.8時点　（千円）

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額（決算）		

事業実績、評価等

次年度以降の考え方（担当課）	・民間事業者の専門的な知識と経験を活用し、収納率の維持・向上を図る。	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

R8当初予算（Action）　（千円）

査定額	当初	13,000
主な経費	・宿泊税特別徴収事務交付金	
対前年度増減額（当初予算）		13,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合あり

事業内容、スケジュール

[事業内容]
上半期と下半期の年に2回、毎月納入された宿泊税の3%の金額を特別徴収義務者に交付する。

※上半期　4月納入分（3月宿泊税）～9月納入分（8月宿泊税）
　上半期終了後4か月以内（1月まで）に上半期納入金額の3%を交付

　下半期　10月納入分（9月宿泊税）～3月納入分（2月宿泊税）
　下半期終了後4か月以内（7月まで）に下半期納入金額の3%を交付

[スケジュール]
～R8.7月
　交付金の交付（1回目）

R8.10月～R9.1月
　交付金の交付（2回目）